

働き方改革が進むこの時代、あなたはどのような働き方をしますか。

有老ホーム・サ高住を中心に各種介護サービスを展開し、

現在9事業所、13種の認可事業を運営する株式会社ウエルビーアイ。

代表取締役社長の佐藤健司さんに、新年の所感についてお話をいただいた。



個性を認め多様な働き方が求められる中志も持つていて成長する

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、2018年を振り返りますと私がもつとも気になったことは「働き方改革」です。働き方改革が進むと物流、物の価値観、判断基準も変わって行く中で、事なれば主義や身勝手な思考にならぬかと危惧しています。

伸びる社員と埋もれていく社員が両極端に分かれていくのではないかと思います。

介護の現場では2019年4月から特定技能ビザにより外国人労働者が入ってきます。職場で外国人と共にどう働いていくべきかという課題がでてきます。私は日本に行きたいと現地で研修を頑張っている外国人の方たちを見ていると、この懸念さが日本で働くことでいい科学反応を起こしてくれると感じています。

では、働き方改革が進むにつれ、私たちは今後どのような志を持ち働く必要があるのでしょうか。働き方改革の考え方で二本柱として私が重要だと思っているのが、「ワークライフバランス」と「ダイバーシティ

推進」です。「ワークライフバランス」について多くの人が長時間労働の是正と考えている

ようですが、「ワークライフバランス」とは本

来は「仕事と生活の調和」です。生活を充実させることで仕事への意欲を高め、仕事の効率を上げることが目的です。また、「ダイバーシティ推進」ですが、日本ではダイバーシティ推進＝女性活躍推進と捉えられている

ようですが、そもそも「ダイバーシティ」とは「多様性」を認めること。働く人と時間が減っていく中で、多様な個々の特性をうまく活用した働き方をするために重要なになってくる

考え方であり、これまでの「人並みをよし」とする考え方からそれぞれの「個性を認める」というのが根本的な「ダイバーシティ」の考え方であり、障害者やワーキングマザーなど長時間労働が難しい方でも短時間で成果を出せばいいと私は思います。これまでの社員全員が同じ時間働くという考えを変えていかなければ改革は進みません。外国人に対しても文化、習慣、宗教が違うのが普通という考え方を持たなければいけません。これまでの固有の価値観から脱却し、多様性を認める社会になつていくことが不可欠です。

では、これまでの「人並み」からお互いが多様な個性を認め、ワークライフバランスを意識した働き方をしていくとなると、私たち自身はどうすればいいのか。

経営者は、職員一人ひとりに目を向け、それぞれの状況に合わせた働き方を管理できる管理者の育成が急務だと考えています。改革を進める中で経営者と管理者達がまず変わらない限り会社を変えていくことはできません。

また、働く社員はこれからの働き方についてどう考えればいいのでしょうか。私はこれから働き方として大切なことは自分の能力を最大限に引き出す（自己反省と自己改革）ことだと思っています。今みなさんは夢がありますか。私が以前働いていた会社では手帳の最初のページにその年叶えたい夢や目標を具体的に書き込み、例えば行きたい場所などの写真を貼っていました。つらくなつたときにそのページを見ると自然と笑顔になれるのです。そして多くの社員が具体的に書かれていたその夢を実現させていたのです。目標が明確になつたからではないでしょうか。上の写真は私の手帳です。私は日々手帳に細かくその時々のことを記載するようになります。自分に足りないことなどを書いていくと自分がこれから何をしなければならないかが見えてきます。反省をして自分をどう変えていくかを明確にすることで成長することができます。

私もこれまで厳しい状況に幾度となく当たつきましたが、そのたびに自分を奮い立たせることができたのは目標があつたからだと思います。「目標に向かってどう生きるか。」この新年の節目にぜひ一度考えてみませんか。私が思う「負け組」は自分に言い訳をして自らハードルを下げている人ではないでしょうか。熱意や信念に勝るものはないと思っています。

株式会社ウエルビーアイ

代表取締役社長
佐藤健司さん

では、これまでの「人並み」からお互いが多様な個性を認め、ワークライフバランスを意識した働き方をしていくとなると、私たち自身はどうすればいいのか。

経営者は、職員一人ひとりに目を向け、それぞれの状況に合わせた働き方を管理できる管理者の育成が急務だと考えています。改革を進める中で経営者と管理者達がまず変わらない限り会社を変えていくことはできません。

また、働く社員はこれからの働き方についてどう考えればいいのでしょうか。私はこれから働き方として大切なことは自分の能力を最大限に引き出す（自己反省と自己改革）ことだと思っています。今みなさんは夢がありますか。私が以前働いていた会社では手帳の最初のページにその年叶えたい夢や目標を具体的に書き込み、例えば行きたい場所などの写真を貼っていました。つらくなつたときにそのページを見ると自然と笑顔になれるのです。そして多くの社員が具体的に書かれていたその夢を実現させていたのです。目標が明確になつたからではないでしょうか。上の写真は私の手帳です。私は日々手帳に細かくその時々のことを記載するようになります。自分に足りないことなどを書いていくと自分がこれから何をしなければならないかが見えてきます。反省をして自分をどう変えていくかを明確にすることで成長することができます。

私もこれまで厳しい状況に幾度となく当たつきましたが、そのたびに自分を奮い立たせることができたのは目標があつたからだと思います。「目標に向かってどう生きるか。」この新年の節目にぜひ一度考えてみませんか。私が思う「負け組」は自分に言い訳をして自らハードルを下げている人ではないでしょうか。熱意や信念に勝るものはないと思っています。

介護の事なら、お任せください！

株式会社ウエルビーアイ TEL.027-386-8700 高崎市井野町376番地

- サービス付高齢者住宅 ○ケアビレッジ・ウエルビ井野
- 住宅型有料老人ホーム ○ウエルビ・浜川 ○セカンドステージ・春番館 ○ウエルビ・岩井の丘 ○ウエルビ・中栗須
- 通所介護(デイサービス) ○ウエルビ・八千代 ○ウエルビ・井野
- 訪問介護 ○ウエルビ寺尾 ○ウエルビ井野
- 居宅介護支援事業所(ケアマネ) ○ケアマネジメント ミシオン

